

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】 第 1 部門第 2 区分
【発行日】 令和 6 年 2 月 16 日 (2024.2.16)

【公開番号】 特開 2023-138766 (P2023-138766A)
【公開日】 令和 5 年 10 月 2 日 (2023.10.2)
【年通号数】 公開公報 (特許) 2023-185
【出願番号】 特願 2023-130582 (P2023-130582)
【国際特許分類】

A 63 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 63 F 7/02 3 2 0

A 63 F 7/02 3 2 6 Z

A 63 F 7/02 3 3 2 B

A 63 F 7/02 3 3 4

【手続補正書】

【提出日】 令和 6 年 2 月 7 日 (2024.2.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】 特許請求の範囲

【補正対象項目名】 全文

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

扉体と遊技盤との間の遊技領域を流下する遊技球が所定入球手段に入球した場合にそれに対応する遊技の履歴情報を履歴記憶手段に記憶させるための履歴記憶処理を実行する履歴記憶実行手段と、

前記履歴記憶手段に記憶されている前記履歴情報を利用して所定の期間における遊技に対応する態様情報を導出するための所定導出処理を実行する情報導出手段と、

当該情報導出手段により異なるタイミングで導出された複数の前記態様情報を記憶することが可能である態様情報記憶手段と、

所定契機が発生したことに基づいて、前記態様情報記憶手段において複数の前記態様情報が前記情報導出手段により導出された順序に対応させて記憶された状態となるように、前記態様情報記憶手段における複数の記憶領域の間において前記態様情報をシフトさせるためのシフト処理を実行するシフト制御手段と、

前記態様情報記憶手段に記憶された複数の前記態様情報のそれぞれに対応する表示が順次実行されるように情報表示手段を表示制御する態様情報表示制御手段と、

所定状況の場合に遊技のための所定処理の実行が規制される規制状況とする手段と、
を備え、

前記履歴記憶実行手段は、前記扉体が閉鎖状態である状況及び開放状態である状況のいずれであっても前記所定入球手段に遊技球が入球した場合にそれに対応する履歴情報を前記履歴記憶手段に記憶させる構成であり、

前記態様情報表示制御手段は、

特定事象が発生したことに基づいて、前記情報表示手段を特定事象対応状態に変化させる特定事象対応手段と、

前記所定の期間が新たに開始された場合、前記履歴情報を利用して把握される遊技状況が所定遊技状況となるまで前記情報表示手段に特定表示が行われるようにするための制御を行う特定表示制御手段と、
を備え、

10

20

30

40

50

前記履歴記憶実行手段は、前記規制状況であっても前記履歴記憶処理を実行するための手段を備え、

前記シフト制御手段は、前記規制状況であっても前記シフト処理を実行するための手段を備え、

前記特定表示制御手段は、前記規制状況であっても前記履歴情報を利用して把握される遊技状況が前記所定遊技状況となったことに基づいて前記特定表示が終了されるようにするための手段を備え、

前記情報導出手段は、処理実行契機が発生することにより前記所定導出処理を実行するものであって、前記態様情報の導出が開始されてから当該態様情報の導出が完了するまでに前記所定導出処理を複数回実行するものであることを特徴とする遊技機。

10

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

ここで、上記例示等のような遊技機においては、情報表示手段の表示制御を好適に行う必要があり、この点について未だ改良の余地がある。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明は、上記例示した事情等に鑑みてなされたものであり、情報表示手段の表示制御を好適に行うことが可能な遊技機を提供することを目的とするものである。

20

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

上記課題を解決すべく請求項1記載の発明は、扉体と遊技盤との間の遊技領域を流下する遊技球が所定入球手段に入球した場合にそれに対応する遊技の履歴情報を履歴記憶手段に記憶させるための履歴記憶処理を実行する履歴記憶実行手段と、

前記履歴記憶手段に記憶されている前記履歴情報を利用して所定の期間における遊技に対応する態様情報を導出するための所定導出処理を実行する情報導出手段と、

当該情報導出手段により異なるタイミングで導出された複数の前記態様情報を記憶することが可能である態様情報記憶手段と、

所定契機が発生したことに基づいて、前記態様情報記憶手段において複数の前記態様情報が前記情報導出手段により導出された順序に対応させて記憶された状態となるように、前記態様情報記憶手段における複数の記憶領域の間において前記態様情報をシフトさせるためのシフト処理を実行するシフト制御手段と、

40

前記態様情報記憶手段に記憶された複数の前記態様情報のそれぞれに対応する表示が順次実行されるように情報表示手段を表示制御する態様情報表示制御手段と、

所定状況の場合に遊技のための所定処理の実行が規制される規制状況とする手段と、を備え、

前記履歴記憶実行手段は、前記扉体が閉鎖状態である状況及び開放状態である状況のいずれであっても前記所定入球手段に遊技球が入球した場合にそれに対応する履歴情報を前記履歴記憶手段に記憶させる構成であり、

50

前記態様情報表示制御手段は、

特定事象が発生したことに基づいて、前記情報表示手段を特定事象対応状態に変化させる
特定事象対応手段と、

前記所定の期間が新たに開始された場合、前記履歴情報を利用して把握される遊技状況が
所定遊技状況となるまで前記情報表示手段に特定表示が行われるようにするための制御を
行う特定表示制御手段と、

を備え、

前記履歴記憶実行手段は、前記規制状況であっても前記履歴記憶処理を実行するための手
段を備え、

前記シフト制御手段は、前記規制状況であっても前記シフト処理を実行するための手段を
備え、

前記特定表示制御手段は、前記規制状況であっても前記履歴情報を利用して把握される遊
技状況が前記所定遊技状況となったことに基づいて前記特定表示が終了されるようにする
ための手段を備え、

前記情報導出手段は、処理実行契機が発生することにより前記所定導出処理を実行するも
のであって、前記態様情報の導出が開始されてから当該態様情報の導出が完了するまでに
前記所定導出処理を複数回実行するものであることを特徴とする。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

本発明によれば、情報表示手段の表示制御を好適に行うことが可能となる。

10

20

30

40

50